

I 研究テーマ

医療機関におけるマネジメント・システムの導入とその成果に関する研究

II 研究の概要

2002年に診療報酬のマイナス改定などにより、日本の医療機関の多くが赤字に転落しました。これに伴って、医療機関もマネジメントを強いられるようになってきました。医療機関では、マネジメント・システムを本格的に導入した組織でも、20年経っていないと考えられます。そのような中でも、せっかく導入したマネジメント・システムを中止したり、変更したり、導入にも二の足を踏んでいるケースがあるのではないかと考えられます。

今回のスタディ・グループでは、中規模医療機関で導入されているマネジメント・システムと医療機関の目的(目指す姿)に関するフィールド・スタディを実施します。その結果、医療機関の目的にとって効果的なマネジメント・システムとは何かを明らかにします。

III 研究の方法論

研究の方法論は、実態把握のためのアンケート調査とインタビューによるケーススタディです。

1年目は、日本の医療機関の実態を把握するためにアンケート調査を行います。

①検討、導入中、廃止のマネジメント・システム

部門別原価計算, ABC, BSC, アメーバ経営, TQM, リーンマネジメント
目標管理, 方針管理, 中期計画, 利益計画, 予算管理, その他

②トップの関与

③ミッション, バリュー, ビジョンの有無

④中期計画の有無と年数

- ⑤計画値と実績値の比較時期は月次，四半期，半期，1年のいつか
- ⑥マネジメントとして財務データと非財務データの活用度
- ⑦職員のスキルアップ
- ⑧マネジメントに使用している電子カルテや情報システム
- ⑨職員へのミッションやビジョンの浸透度
- ⑩マネジメント・システムの課題

2年目は，いくつかの医療機関に対してインタビューやHPを通じてケーススタディを実施します。インタビューでは，共通した質問と，導入しているマネジメント・システムに特化した個別質問を行う。共通質問としては，以下を想定しています。

A 共通質問

- ①医療か介護かあるいは急性期か慢性期かといった組織特性
 - ②マネジメント・システム導入による財務業績への影響と推移
 - ③院長や理事長などのマネジメント・システムに対する考えと関与の仕方
 - ④マネジメント・システム導入のスタッフや外部の支援
 - ⑤マネジメント・システムごとの検討，導入中，廃止の状況
 - ⑥マネジメント・システムの導入組織(特定部署・部門，全部門)
 - ⑦マネジメント・システムの導入コストと効果
 - ⑧マネジメント・システムのための情報技術のニーズと導入の満足度
 - ⑨クリニカルラダーの有無
 - ⑩チーム医療やチームワークに対する職員の達成度
- その他

B 個別質問

個別質問は，ケースライターに委ねる。

IV 研究メンバー

代表者 伊藤和憲 専修大学教授

 挽 文子 一橋大学教授

栗栖千幸 亀田医療大学准教授
関谷浩行 北海学園大学准教授
阪口博政 国際医療福祉大学講師
梅田 宙 専修大学助教
丹羽修二 日本経営副社長